

# KOCHI 2012 ROTARY 2013 CLUB SINCE 1937



2012-13年度国際RIテーマ

## 週報



Weekly report 第3109回 2013年1月15日 2013年1月22日発行

### ● 会長挨拶



昨年の大津市のいじめ自殺事件から世間の目が学校や教育委員会に対して、不作為、責任逃れ、隠蔽体質だと随分厳しくなっていますが、追い打ちをかけるように、また先日、大阪桜宮高校バスケット部でキャプテンが自殺をし、大きな波紋を広げています。

これらの事件を見るにつけて、今の日本の学校というのは世間から隔離された特別な閉鎖社会のような気がします。教育委員会の制度についても、責任の所在があいまいだといった欠点が指摘され、仕組みや機能についての再検討が必要だという意見の専門家も多くなっているようです。教育の問題に関しては、高知RCには宮地会員、津野会員、佐竹会員、社会人教育に関しては日本のカリスマと呼ばれている横田会員がおられますので、門外漢の私がとやかく論調することは控えますが、いずれにしても、先ほどの2件の事件をはじめ、明らかに暴力と呼んでいいものが、先生からの場合は愛のムチだとか指導だとか、生徒同士の場合は悪ふざけだとか、遊びだとか、そういう別の言葉で表現されていること自体が、問題の本質を歪めているものになっているのではないかと感じます。どんなものであれ、暴力は暴力としてありのままに認め、表現することからやり直さないと、この病気の治療は不可能だと思います。

今回のような一方的支配的立場からの虐待に近い暴力というようなものと、逆に特殊な生徒たちの常軌を逸したわがままな行動や暴力を押さえるためにやむにやまれず用いる先生方からの暴力行使。例えば、伝説の伏見工業高校のラグビー部、山口先生の場合は、生徒を叩きながら自分も一緒に泣い

たと聞きましたが、こういうものは私も認めて支持するようなものだと思います。しかし、これら両方とも暴力だということは認めた上で、それぞれの暴力の意味の違いを親や社会もきちんと受け止め、私たちが何がどこまでなら許容される暴力なのか考えるべきところに来ているのではないかと思います。

とりつくりの言い換えなどで、暴力を暴力でないようなことを言わず、事実をありのままに表現し、何が起きているのか、何が問題なのか、何をしようとしたかをもっとオープンに議論することで、暴力は許されないといった単純な子どものような議論で切り捨てるのではなく、常識という日本人が長い歴史の中で培い、学び取ってきた貴重な物差しで、ルールでは計りきれないものを計ることができるのではないかと私は思います。しかし、今回のように犠牲者が出てからでないといふ今ある危機が見えてこない、見て見ぬふりをする人の姿勢が治らない。現状維持の深く重たい圧力を越えられないというのは悲しいことだと思います。

世界の生んだ最高の天才の1人だと思っている、ローマのジュリアス・シーザーはこんなことを言っています。「変えるべきどんな悪い仕組みもそれが作られた時は、必要でりっぱなものだった」それから1100年経ちました。豊かになった成熟日本には教育だけでなく、さまざまな社会の仕組みや考え方をしっかり考え直し、見直さなければならないこともかなり多くなってきたように思います。

私も中学、高校、大学時代、結構厳しい体育会系のクラブに所属していましたので叩かれたこともあります。いずれの場合も叩かれる側にとっても、暴力は屈辱であり恐怖でもあります。しかし、当時の先輩を恨んだり、復讐しようとは思っておりません。

### 高知クラブが心を1つにして支える 関 裕司ガバナーエレクト

#### ■活動報告他

・1月12日(土)～21日(月)

ガバナー研修・国際協議会／アメリカ・サンディエゴ



サンディエゴに向けて出発

#### ■本日のプログラム [1月22日] ゲストスピーチ 「高知県における国道整備」

国土交通省 四国地方整備局 土佐国道事務所 事務所長 三保木 悦幸氏

● **ロータリーソング** 「四つのテスト」

● **今週のピアノ曲** 「風」 ピアノ演奏：山内り会員



◆ **米山功労者表彰**

松岡宣明会員

● **幹事報告**



- ・ 5月17日、18日、広島で開催される世界平和フォーラムに、1人300円の協力金を送ることが理事会で承認されました。また、先着順で各県5名程度の参加者を受け付けますので、希望者は申し込んでください。
- ・ 地区大会へ多くの参加をお願いします。
- ・ 昨年の最終夜間例会の様子をDVDにまとめました。ガバナーエレクト事務所に置きますのでご覧ください。
- ・ 関ガバナーエレクトが1月22日、午前9時45分高知空港着で帰高します。時間のある方はお迎えをお願いします。

● **会員スピーチ**

**室戸貫歩に参加しました**

秋山 貴之 会員



室戸貫歩に誘ってくれた方に、これはどんなイベントですかと聞くと、高知大学の空手道部主催で、一昼夜かけて高知市内から室戸岬までの90kmひたすら歩くだけのものだけど、今年52回になる由緒あるもの。600人ぐらいが参加して、1時間4kmぐらいのペースで進めば24時間で着き、6割ぐらいが完走する。一番早い、大学の体育会系の方は9～10時間でゴールするが、リミットは翌日の午後3時で、これまでに着くと証明書がもらえるということでした。

参加しようと思ったのは、自分の限界に挑戦してみたかったことと、せっかく高知に来たので、高知の自然を満喫したかった。もともとアウトドアが好きで、自転車も面白いけど歩くのもいいなと。学生時代はバスケットボールをしていたし、大学では探検部に所属していたので、体力的には大丈夫だと思っていました。開催日は11月の3連休、出発は朝9時、朝倉の高知大学のキャンパス。天候は小雨。同じ会社の男性4名、女性3名、いずれも40代。私たちは、24時間かけて、日の出を室戸岬で見れたらいいし、中間地点の安芸まで行ったら電車で帰ってもいいということで参加しました。

南国バイパスを進み、午後2時の時点でまだ赤

岡町。ここにおつまみたい焼きという、ニラやカボチャ、ユズなど変わった味のたい焼きを食べて、室戸岬まであと60kmという標識を見て、みんなスピードが上がります。けれど、余り頑張りすぎると後でバテてしまうことが練習の時に分かりましたので、時速5kmを超えたらスピード違反だということで進みました。夕方5時、夜須のヤ・シーパーク辺り。ご当地在住の社員からアワビご飯を、豪華なお座敷の上でご馳走になり、社会人の特権かなと思いました。やはり、畳の上で30分ぐらい足を休めて、サロメチールやエアサロンパスを塗ると疲れも違います。

中間地点の安芸は夜8時、真っ暗です。ここでもやはり社会人の特権で、7人にサポートカーが2台きて、荷物を持ってくれたりとん汁など夜食の差し入れがあります。学生さんは道路で毛布をかぶって寝ている人がいっぱいいます。早い人はゴールをしたという連絡が事務局からありました。リタイアする人もいます。ここまではグループ7人で一緒に歩いていましたが、早い人と遅い人でペースが合わなくなって2つのグループに分かれました。サポートカーは、後発を見送った後、次の休憩地点に先回りして、毛布を敷いたりキャンプ用の道具を出してくれたりの繰り返しです。

伊尾木の先で「めざせ室戸 ファイトで貫歩」というイルミネーションがあって、心強かったです。ヘッドランプは絶対必要で、私はこの日のためにLEDのヘッドランプを持っていったのですが、効果は絶大。明るいし電池も一晩もちます。懐中電灯は暗いし予備の単3の乾電池も使いきって、4時5時の一番暗い時



に電池切れになった人もいました。

この辺になると、畳で休憩した社会人は元気になって、学生さんを追い越していきます。仮装したり、部活のユニフォームを着た学生さんを追い越していくのは、本当に快感でした。不思議なことに、なぜか学生さんに追い越された記憶がありません。満更でもないなど優越感を持ちました。大山岬で10時ぐらい。高知大学の事務局の方の炊きだしで熱い豚汁がとてもおいしかったです。大体2時間おきに、道の駅等、休憩する所がありますが、こういう所じゃないと車を止めてはいけな、火を使っはいけななど厳しいルールがあります。そうでないと、近隣の住民の方に迷惑がかかって、このイベントが続けられなくなります。ここまで来ると、グループが分かれて1人で歩いたりしている人が多くいますが、女子学生の1人歩きは禁止で、警察の見回りなどのサポートもあります。

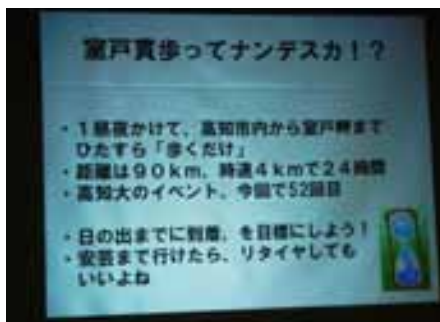
田野の道の駅で日付変更線。ここには学生さん達のサポートカーがいっぱいです。スマホの万歩計を持っている人に聞くと6万歩だと言っていました。疲れ対策は何と言っても靴です。ジョギングシューズ、ランニングシューズ、サポート下着等々、我々は楽に歩ける対策をしましたが、この辺から休憩ごとにサロメチールやエアサロンパスが必須になってきます。

羽根岬では夜中の3時。もうこの辺にくると、我々のグループもバラバラです。実際には1時間で2、3分しか変わらないのですが、それでもペースが合わなくなりました。1人で歩いていると、横に突然お墓が見えたり、柳の枝がほっぺたに当たったりしてすごく恐いし、灯りがないので、自分がどの辺を歩いているのか全然分からない。5m、10m向こうは真っ暗です。バス停の小屋などでは、男子学生が5、6人寝ていたり、歩道で寝ていたり。キラメッセで5時。さすがに

写真を撮る元気もなくなりました。後続は2時間ぐらい遅れています。マメを潰したり、足をマッサージしたりでサポートカーも後続にかかりつきりになって、前にはサポートもいなくなりました。不思議と眠気は感じません。何も考えず無心でひたすら前に足を出しているだけ。星と海がきれいで、室戸岬も見え始めますが、なかなか近づいてきません。

国道には室戸まで何キロという標示がありますが、あれは町までの距離なんですね。町から岬までまだ6km、1時間半もあるのかと思いながら朝6時ぐらいに室戸の町を越えたのを覚えています。ゴールは7時半。前の4人もバラバラのゴールでした。私はゴールしたら温泉に入ろうと思っていたのですが、後の人を出迎えましょうということで、全員がゴールしたのが10時半でした。

ゴールした後、ヤッターという達成感よりも終わってしまったという淋しさがありました。ただ、全員ゴールしたことにはやはり感動しました。帰り、我々はサポートカーで帰りましたが、学生さんはバスや奈半利からの電車など、自分で帰ったようです。しばらくは筋肉痛で足をひきずりながら会社の中を歩いていましたが、ますます高知が大好きになって、今年も歩いたり自転車等々、アウトドアを一生懸命頑張るぞと、気持ちを新たにしています。







◇ 例会変更 ◇

高知北RC	1月28日	新年家族合同夜間例会(三)	高知ロイヤルRC	2月 5日	観梅夜間例会(旭)
高知中央RC	2月 7日	創立夜間例会(城)	高知東RC	2月13日	観梅夜間例会(阪)
高知RC	2月19日	ロータリー創立夜間例会(三)	高知西RC	2月22日	夜間例会(三)
高知南RC	2月28日	夜間例会(阪)			

※サインメーカーのできるホテル (三)…三翠園 (城)…城西館 (阪)…ザクラウンパレス新阪急高知 (旭)…ホテル日航高知旭ロイヤル

◇ 出席率 ◇

	総数	出席	欠席	メイクアップ	出席率
1月15日	(-7)87	53	18	9	77.50
1月 1日	ロータリー休日				

 ニコニコ箱

関 雅文 一昨日の33会でなぜか優勝してしまいました。ご一緒させていただいた尾崎さん、小山さん、引っぱりくださりありがとうございました。

大久保千堯 第2回長宗我部まつりで、人事をめぐる朗報がありましたので、ついニコニコしてしまいました。

津野眞千子 とってもありがたいことがありました。この度、永野雄一会員から、お父様のお香典返しとして、私の関係している障害者福祉施設に高額のご寄付をいただきました。高知RC会員の皆様にご披露申し上げ、厚く御礼申し上げます。永野さん、障害者のために大切にに使わせていただきます。ありがとうございました。

● 累計額 [1月15日現在]

ニコニコ箱	576,600円	ロータリー <small>さんさん</small> 燦燦基金	91,674円	ポリオ募金	235,593円
-------	----------	--------------------------------	---------	-------	----------

■ 次週のプログラム [1月29日]

ゲストスピーチ  
高知市副市長 中嶋 重光 氏  
「私の10大ニュース 2012年の回顧と2013年の抱負」

創 立 昭和12年10月  
例 会 日 火曜日 12:30~13:30  
例 会 場 三翠園ホテル TEL(822)0131  
事 務 局 高知市本町3丁目2-15 高知新聞放送会館1階  
TEL(824)8660 FAX(824)2529  
HPアドレス <http://www.221.ne.jp/kochirc/>